

福祉生活病院常任委員会資料

(令和4年6月1日)

【件名】

- 「第8回鳥取県コロナに打ち克つ新しい県民生活推進会議」の開催結果について
(新型コロナウイルス感染症対策総合調整課) . . . 2
- 新型コロナウイルス感染症への対応について
(新型コロナウイルス感染症対策推進課) . . . 4
- 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について
(新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム) . . . 6

新型コロナウイルス感染症対策本部事務局

「第8回鳥取県コロナに打ち克つ新しい県民生活推進会議」の開催結果について

令和4年6月1日
新型コロナウイルス感染症対策総合調整課

新型コロナウイルス感染症を克服するための「新しい県民生活」の定着や県内の需要喚起に向けた取組を官民挙げて展開するため設置した「鳥取県コロナに打ち克つ新しい県民生活推進会議」を開催しましたので、開催概要を報告します。

- 1 開催日：令和4年4月27日（水）午後1時30分から3時
- 2 出席者：経済、産業、福祉保健、教育、県民、行政の各団体代表者（次ページのとおり）
- 3 議 題：現状及び県の取組状況について
意見交換
- 4 団体代表者からの主な意見と関係部局の対応
 - 無料PCR等検査を6月以降も状況に応じて延長してほしい（県町村会）
⇒感染不安を感じる県民対象の無料PCR等検査を6月末まで延長。7月以降は県内の感染状況等を勘案して検討する。[5月補正：感染拡大傾向時におけるPCR等検査無料化事業]
 - 社会福祉施設が行うPCR検査等への支援を継続してほしい（こうほうえん）
⇒社会福祉施設等の職員等が自主的に行うPCR検査等への支援を6月末まで延長。7月以降は県内の感染状況等を勘案して検討する。[5月補正：社会福祉施設等に係るPCR検査等支援事業]
 - 飼料高騰対策など国の総合緊急対策に足りない部分への支援をお願いしたい（JA中央会）
⇒飼料高騰等への支援、既存セーフティネット制度の拡充支援、経営悪化した農家の経営改善のための支援等を行う。[5月補正予算：畜産経営緊急救済事業、畜産経営安定対策事業、みんなでやらいや農業支援事業(原油高緊急支援)]
 - 原油高騰、物価高等により大きな影響を受けている小規模事業者が多い業種への支援をお願いしたい（県生活衛生指導センター）
⇒組合等がスケールメリットを生かす等により積極的な対策を講じる取組に支援等を行う。[5月補正：業種別物価高騰対策推進支援事業]
⇒地域経済変動対策資金の対象事業に円安、原材料価格高騰を加え期間延長するとともに市町村と協調した最大3年間実質無利子化を行う。[5月補正：燃油及び原材料価格高騰・円安対策特別金融支援事業]
 - 観光キャンペーンのブロック割りの開始を検討してほしい。5月末までのWeLove山陰キャンペーンの延長を検討してほしい（県町村会）
⇒5月9日から「スペシャルウェルカニキャンペーン」としてブロック割りを開始。WeLove山陰キャンペーンは6月末まで延長する。[5月補正：新型コロナから立ち上がる観光支援事業（緊急対策）]
 - バス旅行の商品造成への支援の予算額の増額と支援対象期間の延長をお願いしたい（県観光連盟）
⇒県内周遊団体ツアーのバス代支援の期間延長と支援額の増額を行う。[5月補正：新型コロナから立ち上がる観光支援事業（緊急対策）]
 - 飲食キャンペーンの食事券をWebで購入できるやり方にしてほしい（県飲食生活衛生同業組合）
⇒プレミアム付食事券のインターネット予約販売枠を新設する。[5月補正：新型コロナ安心対策認証店特別応援事業(インターネット予約)]

第8回鳥取県コロナに打ち克つ新しい県民生活推進会議出席者名簿

(敬称略)

分野	団体	職名	氏名	出欠
経済	鳥取県商工会議所連合会	会長	児嶋 祥悟	代理出席 幹事長 中山 孝一
経済	鳥取県商工会連合会	会長	土井 一朗	
経済	鳥取県中小企業団体中央会	会長	谷口 譲二	
産業	公益社団法人 鳥取県観光連盟	会長	小谷 文夫	
産業	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合	専務理事		
産業	鳥取県農業協同組合中央会	専務理事	谷垣 重彦	
産業	公益財団法人 鳥取県生活衛生営業指導センター	事務局長	小畑 正一	
産業	鳥取県飲食生活衛生同業組合	女性部長	宍道 真理子	
産業	一般社団法人 鳥取県食品衛生協会	会長	望月 進	
福祉保健	社会福祉法人 こうほうえん	理事長	廣江 晃	
福祉保健	公益社団法人 鳥取県医師会	理事	秋藤 洋一	代理出席 事務局長 岡本 匡史
福祉保健	公益社団法人 鳥取県看護協会	会長	松本 美智子	
福祉保健	鳥取市民健康づくり地区推進員連絡会議	理事	岡本 健二	
教育	鳥取県PTA協議会	会長	松岡 智也	
報道	株式会社 新日本海新聞社	地域プロデュー ス局長	山本 晋	欠席
県民	公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター	事務局長	小林 綾子	
県民	とっとり県消費者の会	会長	福井 靖子	欠席
県民	日本労働組合総連合会鳥取県連合会	会長	田中 穂	欠席
行政	鳥取県市長会	会長	深澤 義彦	
行政	鳥取県町村会	会長	宮脇 正道	代理出席 副会長 吉田 英人

新型コロナウイルス感染症への対応について

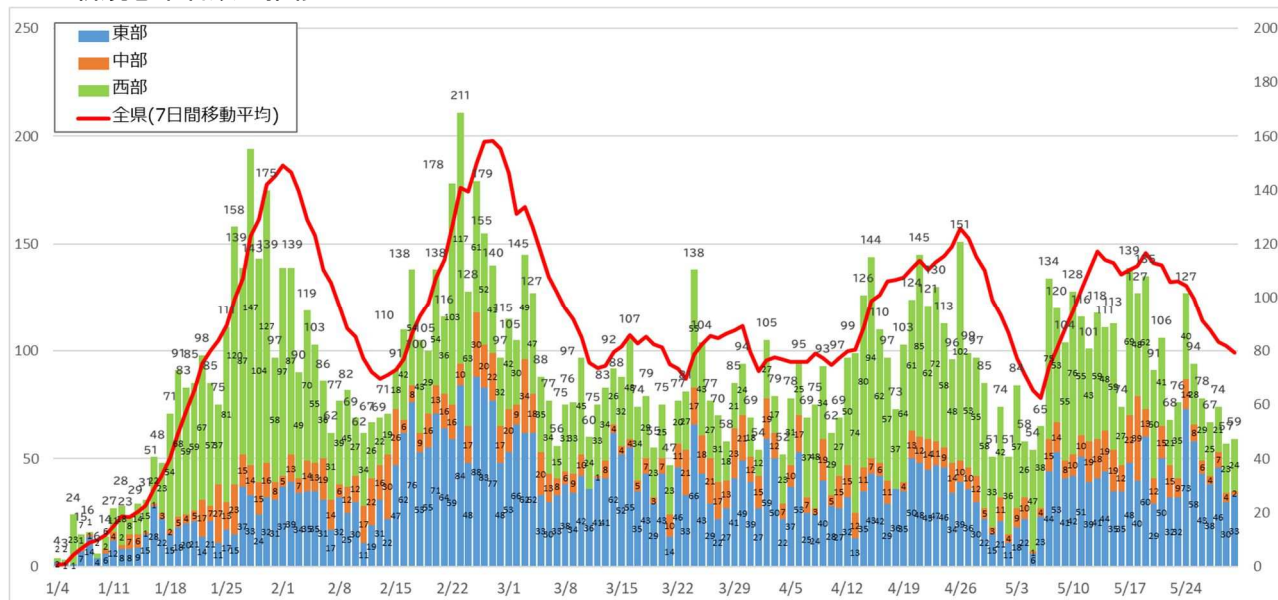
令和4年6月1日
新型コロナウイルス感染症対策推進課

1 県内における感染者の発生状況

(1) 第6波累計感染者数（令和4年1月4日～5月30日、発表日ベース）

13,387名（鳥取市保健所5,263名・倉吉保健所1,660名・米子保健所6,464名）

<新規感染者数の推移>



<年代別等による内訳>

年代	10代以下	20～30代	40～50代	60～70代	80代以上	
	4506	3997	3188	1302	394	
性別	男	女				
	6633	6754				
居住地別	鳥取市	岩美郡・八頭郡	倉吉市	東伯郡		
	4581	568	703	918		
	米子市	境港市	西伯郡・日野郡	県外		
	4820	702	805	290		
既陽性者との接触	有	無				
	県内陽性者	県外陽性者				
	9255	170	3962			
国外・県外移動歴 <発症(検体採取)日前14日間>	有	無	不明			
	1549	11820	18			
ワクチン接種	未接種	1回目	2回目	3回目	不明	
	5275	126	6694	1072	220	
推定感染経路 (場所)	家庭	職場	飲食店・会食	教育機関・児童福祉施設	その他	不明
	5873	847	429	1361	1723	3154

(2) 第6波におけるクラスター発生状況（令和4年5月30日現在、発表日ベース）

区分	鳥取市	倉吉	米子	分類計
学校・保育所等	19	10	32	61 (48%)
高齢者施設	5	1	7	13 (10%)
事業所	8	4	4	16 (13%)
飲食店	5	1	1	7 (6%)
その他	12	1	16	29 (23%)
管内計	49 (39%)	17 (13%)	60 (48%)	126 (100%)

(3) 累計死亡者数（令和4年5月30日現在、発表日ベース）

死亡（累計）	うち新型コロナウイルス感染症を死因とする死亡者
20	8

2 各種要請・警報の発令状況

(1) 特措法第24条第9項による協力要請

「感染対策推進月間」への協力要請

区 域 鳥取県全域

期 間 令和4年5月26日から6月30日まで

要請内容

- ・飛沫を意識したメリハリのあるマスク着用
- ・こまめな手洗い、消毒、換気などの基本的な感染防止対策の徹底
- ・検温など体調把握に努め、自身だけでなく家族に体調不良者がいる場合も登校・出勤等を控える
- ・安心して活動できるよう積極的に無料検査を受検

(2) 鳥取県版新型コロナ警報

オミクロン株感染の特徴を踏まえ、5月6日に暫定版として見直しを実施

⇒医療提供体制のひっ迫状況により判断することとし、最大確保病床使用率を指標とする

区分	注意報	警報	特別警報
最大確保病床使用率	圏域ごとに15%超	圏域ごとに30%超	圏域ごとに50%超
発令・解除の目安	発令：設定値を超える日が3日連続した日の翌日 解除：設定値以下の日が3日連続した日の翌日		

(令和4年5月30日現在)

地域	発令状況	発令日
東部	注意報	令和4年5月13日
中部	—	—
西部	注意報	令和4年5月6日

(3) 新規陽性者の動向を踏まえた注意喚起情報

新規陽性者数や感染経路不明者数を踏まえ、感染拡大に対する注意喚起を発出

区分	感染拡大注意情報	感染拡大警戒情報
①新規陽性者数 【7日間の累計】	10万人あたり100人/週 〔実数：東部・西部各225人/週 中部100人/週〕	10万人あたり200人/週 〔実数：東部・西部各500人/週 中部200人/週〕
②感染経路不明数 【7日間移動平均】	東部・西部各10人/日 中部5人/日	東部・西部各30人/日 中部15人/日
③新規陽性者数の前週比 【3日間累計】	増加	1.5倍

(令和4年5月30日現在)

地域	発出状況
東部	感染拡大注意情報
中部	—
西部	感染拡大注意情報

(4) 「レベル分類」の本県独自の判断指標状況

オミクロン株感染の特徴を踏まえ、5月27日に暫定運用として見直しを実施

① 新規陽性者数(対人口10万人/週)の目安を緩和 ⇒従来目安の5倍に設定

② 全療養施設使用状況を目安から削除 ⇒施設のひっ迫動向指標は最大確保病床使用率に一本化

(令和4年5月30日現在)

○本県のレベル：レベル2

○判断指標(算定基準日：令和4年5月30日、直近1週間：令和4年5月24日～30日)

指標	数値	算式
新規陽性者数(対人口10万人/週)	91.8人	508人/55.3万人×10万人
確保病床使用率(※1)	17.1%	60床/350床
重症者用確保病床使用率(※2)	0.0%	0床/47床

※1 他県で確認された陽性者が使用する数を含む場合があります。

※2 重症者以外が使用している数を含む場合があります。

新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について

令和4年6月1日
新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム

1 本県の接種状況

(1) 県全体の接種状況

(5月29日時点)

全年代	1回接種者	2回接種者	3回接種者	4回接種者
総接種回数	443,095	436,928	329,182	5
人口当たり接種率	79.58%	78.47%	59.12%	0.00%

(2) 年代別接種状況

(5月29日時点)

	1回目	2回目	3回目	対象人口 (住基本人口)	接種率 (1回目)	接種率 (2回目)	接種率 (3回目)
0～4歳	-	-	-	20,844	-	-	-
5～11歳	6,615	5,488	-	33,654	19.7%	16.3%	-
12～59歳	237,677	234,377	144,542	286,992	82.8%	81.7%	50.4%
60～64歳	32,179	31,915	28,614	37,030	86.9%	86.2%	77.3%
65歳以上	166,624	165,148	156,026	178,268	93.5%	92.6%	87.5%
合計	443,095	436,928	329,182	556,788	79.6%	78.5%	59.1%

※母集団となる人口データは、住民基本台帳年齢階級別人口（令和3年1月1日時点）を利用

2 追加接種

(1) 4回目接種

令和4年5月25日に関係政省令の改正が行われ、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種が予防接種法上の臨時接種に位置づけられた（全額公費負担）。

対象者	3回目接種を完了した「60歳以上の方」「基礎疾患を有する方等重症化リスクが高いと医師が判断した者」
接種間隔	3回目接種完了から5か月以上空けること
ワクチンの種類	ファイザー社ワクチンまたは武田/モデルナ社ワクチン（mRNA ワクチン） ※1～3回目と異なるワクチンを接種することが可能

各市町村において個別接種、集団接種等の体制を構築し、鳥取市の5月25日を皮切りに県内市町村で順次接種開始。県では県内3圏域に開設する県営大規模接種センターで接種を実施。6月4日（土）の西部地区を皮切りに接種開始。

(2) 3回目接種の加速化

新型コロナウイルス感染症に罹患すると、若年者でも重症化することがあり、遷延症状が見られる場合もあることから、重症化リスクの高い高齢者はもとより、若年者も自らの健康を守るために接種していただくことが求められる。このことから、3回目接種を着実に接種していただくことを目的に次のような取組を行っている。

① 県庁総動員体制によるワクチン接種の加速化

- ・県庁各部局総動員体制で企業・団体、学校等を個別に訪問し、企業等と連携して従業員に対する接種の働きかけを行う。
- ・未接種者が一定数いる企業・団体、学校等に対しては、オンデマンド型接種（ワクチンバス）の実施の働きかけを行う。

② 県営大規模接種センターの設置

- ・県内3圏域に県営大規模接種センターを設けモデルナ社製ワクチンを使用した1～4回目接種を実施中。
- ・東部会場では、5月28日より武田社/ノババックスワクチン（組み換えタンパクワクチン）の接種が開始（今後も月1回程度実施）
- ・平日や土日でも忙しい方向けに、金曜の夜に接種会場を開設（6/17）
- ・接種を希望される企業、大学、公共施設等に対して、県がワクチンバスを派遣し、その場で接種を行う「オンデマンド型接種会場」の開設予定（6月～）
- ・親子で立ち寄りやすいイオンモール日吉津に臨時接種会場を開設（7～8月）

	東 部			中 部			西 部		
会場	新日本海新聞社			倉吉シティホテル			米子しんまち天満屋		
接種 実績 (5/30)	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
	89人	54人	3,629人	49人	94人	3,355人	92人	143人	3,422人
	3回目 10,406人（うちモデルナ：10,385人、ノババックス21人）								
	3回目のうちエッセンシャルワーカー（保育士、教職員、消防職員等）：2,509人								
	1回目 230人（うちモデルナ：217人、ノババックス13人）								
	2回目 291人（うちモデルナ：289人、ノババックス2人）								

3 予防接種法に基づく医療機関からの副反応疑い報告状況について

区 分	鳥取県（5月29日現在）			全国（4月17日現在）		
	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ
推定接種者数 （回分）	998,104回	211,003回	63回	206,339,241回	59,496,686回	116,907回
副反応疑い件数	67件 (0.007%)	5件 (0.002%)	0件 (0.000%)	28,513件 (0.014%)	4,794件 (0.008%)	16件 (0.014%)
うち死亡報告数	11件 (0.001%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	1,549件 (0.001%)	140件 (0.000%)	1件 (0.001%)
うちアナフィラ キシー報告数	17件 (0.002%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	3,233件 (0.002%)	553件 (0.001%)	6件 (0.005%)

※本県の死亡報告及びアナフィラキシー件数については、前回報告時から変化なし